

# 働く女性スピーチコンテスト

## 最優秀賞に木下さん

仕事に対する思いや伝えた  
いメッセージを発信する「第  
3回働く女性スピーチコンテ

まれ。慶応大大学院博士課  
文化大経済学部特任講師な  
副教授。編著に「ビジネス

るやりとりが低収入の人を排  
除するだけでなく、ミサが本  
来持っている宗教価値や、ミ  
ュージシャンとファンとの巡  
り合いの場としてのライブの  
価値を毀損（きそん）し、単  
なる商品に変えてしまうと、と  
指摘した（マイケル・サンデ  
ル）それをお金で買いますか  
市場主義の限界 早川書房  
（2012年）。

チケット転売問題は、われ  
われの社会における市場の適  
切な位置付けという、より大  
きな問題を考え直す契機にな  
るかもしれない。



スピーチコンテストの出場者  
ら。左から6番目が最優秀賞の  
木下美紀さん。10日、さいたま  
スーパーアリーナ

スト」（同実行委員会）が10  
日、さいたま市中央区のさい  
たまスーパーアリーナで開か  
れ、最優秀賞にさいたま市南  
区の木下美紀さん（39）が選  
ばれた。

木下さんは息子からの「お  
母さんは働かないの?」と言

葉で2年前、専業主婦から会  
社員へ。しかし、仕事と家事  
や育児の両立が難しくなり、  
夫が学校行事に参加するなど  
家庭環境の変化を披露した。

「働く女性が増えて、少子化  
を止めるには夫の協力が必  
要。それが当たり前の社会に  
なしてほしい」と語った。

同コンテストは、「SAI  
TAMA Smile Wo  
manフェスタ2016（県  
など主催）の一環。事前プレ  
ゼンなどを通過した10人が出  
場した。関東経済産業局の渡  
辺豊産業部長は「頑張ってい  
る女性のメッセージに感動を  
いただいた」と振り返った。

事務局の日本声磨き普及協会  
代表理事の佐藤恵さんは「普  
通に働く女性たちの生の声に  
共感していただけたと思っ  
」と話していた。

その他の入賞者は次の通り  
（敬称略）。

- ▽審査員特別賞・木村佳代  
（静岡県）▽優秀賞・林杏子  
（川崎市）松田沙織（山形県）

（小林義治）

「第3回働く女性スピーチコンテスト」が2016年9月10日、さいたまスーパーアリーナで開かれ、最優秀賞にさいたま市南区の木下美紀さん(39)が選ばれた。働く女性スピーチコンテスト、表彰式での、スピーチコンテスト出場者全員の写真です。